

「人工海浜オープン」!

城南島海浜公園管理事務所 (TEL3799-6403)

葛西海浜公園、お台場海浜公園に続き、東京都内としては3番目の砂浜が完成し、いよいよその姿を見せます。

オープンは4月下旬の予定で、この18号城南島タイムズが発行される時は既に開園していることでしょう。

この砂浜は平成6年度から整備を始めて長い工事期間を要しましたが、皆様のご期待に応え、ようやくオープンにこぎつけることができました。

全長は440mですが、面積は葛西臨海公園砂浜の約半分で、コンパクトな規模となっています。

残念ながら水質の関係上、遊泳は禁止で、釣りにつきましても全面禁止となります。大型の船舶を前面に、低空で飛ぶ飛行機を手掴みできるのではないかと勘違いするくらい間近に見ながら、水際でゆっくりくつろいで下さい。きっと今までの城南島海浜公園とは一味違った思い出を作ることができると思います。

なお、この砂浜のご利用時間はお客様の安全上のことを一番に考え、朝8時30分から日没までとなります。

皆さんの砂浜なのできれいに、そしてルールをよく守って御利用下さい。

また、公園開園以来、無料だった駐車場が、砂浜のオープンに併せて施設の拡張等の必要から料金を頂戴することになりました。ご不満もあるかとは思いますが、何とぞご理解頂きますようお願いいたします。

なお、ご利用時間は9時から21時までとなる予定です。



東京港野鳥公園入園者80万人達成!

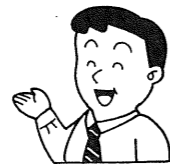
東京港野鳥公園管理事務所 (TEL3799-5031)

昨年は、東京港開港60周年でした。60年前の昭和16年に、東京港は念願の開港を果たしました。開港数年前には竹芝ふ頭や芝浦ふ頭は完成していましたが、野鳥公園を含む大井ふ頭をはじめ、京浜島や城南島の姿もなく、海岸線はずっと内陸に退いていたわけです。当公園内のネイチャーセンター2階の掲示板には、昭和28年当時の平和島の海岸で海水浴を楽しむ写真や、羽田のカキ養殖、数年後の大森海苔場と羽田灯台の写真が貼られています。野鳥公園あたりまで遠浅で良好な海苔場だったようです。海水浴の写真を見て、全く想像

もつかない光景です。この頃から海苔養殖で名を売った広大な大森地先の干潟は、次々と埋め立てられました。昭和35年に大井ふ頭の埋め立てが開始されて、10年後には、大井ふ頭南端、現在の大田市場の場所に雨水の池が出来、湿地が形成されてヨシが生え、増えた生き物を求めて沢山の野鳥が飛来するようになりました。これらの野鳥を保護しようと自然保護運動が活発になりました。東京都もその必要性を認識し、この地に9つの生物生息環境を作り出して、ピオトープ(生物が生きていく空間)の壮大な実験場として世界的にも先駆的な東京港野鳥公園を造成することになったのです。平成元年10月に開園以来多くの野鳥ファンに支えられ、昨年10月に満12歳の思春期を迎えました。

東京港開港60周年を記念して当公園は、入園者80万人達成記念セレモニーを開催することになりました。近年の入園者数低迷で80万人達成は今年にずれ込み、3月3日の日曜日は朝から寒い日に入園者の出だしも悪かったのですが、野鳥公園に初めて来られた大田区在住の山口様ご一家が80万人目の入園者となりました。山口様ご一家には、公社から花束やカバン、(財)日本野鳥の会からはフィールドガイド、シルバーガイドからはフクロウの縫いぐるみ、グリーンボランティアからは野鳥公園ならではの竹に入った菫の苗と沢山の記念品が贈られ、ちょっとびっくりされていました。これからもお知り合いを誘って当公園に来ていただきたいものです。

当公園は、入園者100万人を目指して頑張っています。皆様のご来園をお待ちしております。



コアシサシの子育てに貢献

南部スラッシュプラント (TEL3799-1201)

皆さんは、コアシサシという野鳥をご存知でしょうか。カモメ科の渡り鳥で、環境省の絶滅危惧種に指定されている貴重な野生物です。

そのコアシサシが、昨年の夏、当所と一体の下水道施設である、森ヶ崎水処理センター(大田区昭和島)の屋上に巣作りをしているのが確認されました。

地元の自然保護団体から、子育てがしやすいように屋上を整備してほしい、という要望が出され、下水道局、大田区、自然保護団体の三者で協議を重ねた結果、人工的な営巣地をこの屋上の一部に、ボランティアの参加も得て、三者で協力して整備することになりました。

整備にあたって、下水汚泥を都市の中で

資源として利用するために下水道局が積極的に開発してきたリサイクル製品で、当所で生産している粒状のスラッシュとメトロレンガを使用することになり、屋上に敷き詰める工事が、今年3月末まで実施されました。

コアシサシが、昨年と同じように飛来してくれば、この新たな営巣地で卵を産み子育てを始めてくれると思っています。当所で生産したリサイクル製品が、コアシサシの子育てを支援し、秋には元気で巣立つことを期待しています。

産業廃棄物について(その2)

城南島エコプラント (TEL3799-0831)

前回は、東京都内における産業廃棄物の現状をお話ししましたので、今回は当エコプラントについてお話しします。

当エコプラントは、都内で事業活動を行っている事業者から排出される廃プラスチック、ガラス・陶磁器くず、金属くず及びゴムくずの再利用できない産業廃棄物を受入しています。

ただし、受入できる事業者は中小企業及び行政機関に限っています。事業者は廃棄物を自己車両で運搬できますが、東京都の許可を受けた収集運搬業者に委託することもできます。こうして受入した廃棄物は、1時間に30トン破砕する高速破砕機で破砕処理した後、東京都のごみ埋立処分場に搬出しています。

現在、当エコプラントと産業廃棄物処理委託契約を締結されている都内の事業所は約4千件あり、受入・破砕処理している産業廃棄物は年間約8万トンになります。

ちなみに、東京都の埋立処分場に持ち込まれている産業廃棄物は年間約20万トンです。

最後に、東京都に限らず、全国にある最終処分場の残余年数があとわずかであるなど深刻な問題に直面しています。産業廃棄物に限らず廃棄物として処理・処分されているものには、資源として再生できるものがあります。ごみの発生抑制と適正なリサイクルや処分を推進していき、循環型社会へ転換する必要があります。



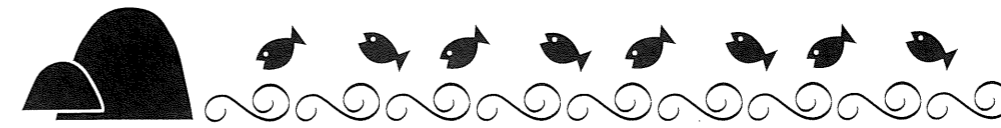
編集後記

城南島タイムズは、読者の声の欄や掲示板コーナーをさらに充実させていきたいと思っています。皆様の積極的な活用をお願いいたします。

(財)東京港埠頭公社
城南島連合会新聞委員会

※この用紙は再生紙を使用しています。

城南島タイムズ



“城南島で動いている都の事業(公共施設)”

東京港臨海道路の開通

東京港建設事務所 (TEL5500-2486)

平成5年度から工事を開始した東京港臨海道路は、東京港第二航路海底トンネルとあわせ4月11日午前0時に一般の使用を開始しました。

開通に先立ち、沈埋トンネル及び中央防波堤外側東西水路に架かる橋の名称を一般公募し、それぞれ「臨海トンネル」、「中防大橋」と決定しました。

3月23日に実施された「臨海トンネル」ウォーク大会には、約1,000名の都民の皆様が参加され、通常では見ることのできないトンネルの構造や非常用設備の見学をしていただきました。

4月10日には都知事の主催で、国会議員、都議会議員、関係官庁及び工事関係者の方々が出席され開通式典が盛大に開催されました。テープカットのあと警視庁交通機動隊「クイーンスターズ」の先導で、臨海トンネルの走り初めを行いました。



開通式

臨海トンネル及び東京港第二航路海底トンネルとも通行は無料ですが、自動車専用道路であり自転車等の軽車両及び歩行者は通行できません。また、両トンネルとも交

通安全施設や非常用設備等は最新のものを設置していますが、こうした設備を実際に使用しないで済むよう、通行される皆様の安全運転をお願いいたします。

広域斎場いよいよ着工へ

臨海部広域斎場組合事務局 (TEL5744-1123)

港、品川、目黒、大田、世田谷区の5区の共同事業として進めております(仮称)臨海部広域斎場は、用地の取得が完了し、いよいよ14年度早々にも着工する運びとなりました。どのような施設となるのか、その特徴をご紹介します。

南北250m、東西90mの敷地の中央に、火葬場と葬儀式場を一体の建物として建設します。建物の北側が収骨室を含む火葬棟、南側が式場棟です。それぞれ大きなひさしを前面に設けて、雨の日でも濡れずに車の乗り降りができるようになっています。

火葬炉の排ガス対策として、現時点での最高水準の設備を設置しています。このため、ダイオキシンなどの有害物質や臭気などは排出されま

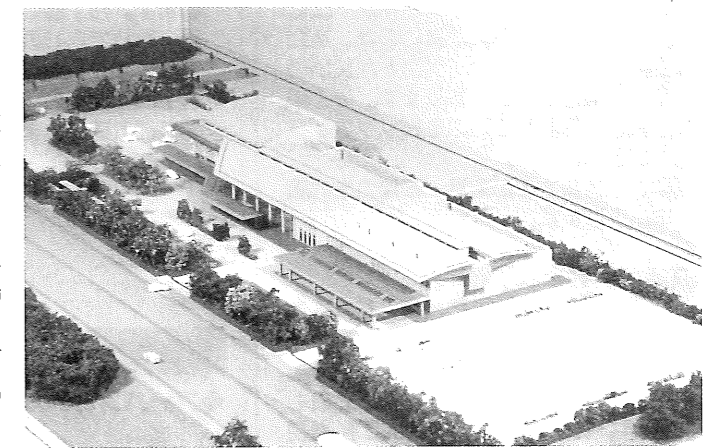


せんし、高い煙突もありません。

建物内部は広いエントランスや吹き抜けを設けるほか、火葬棟の全面をガラス張りにするなど、自然光をふんだんに取り入れ、明るい斎場となります。

また、敷地内は可能な限り緑化を行い周辺との調和を図るほか、雨水を利用したり、小規模ながら太陽光発電も行うなど、環境に優しい施設となっています。

工事ににかかるのは5月か6月頃になる予定です。順調に行けば平成15年の秋には建物が完成し、外回りの工事等の後、平成16年度にはオープンできる見込みです。



建築模型写真

施設概要	
建設予定地	大田区東海一丁目3番
敷地面積	約 22,500㎡
建築面積	約 5,600㎡
延床面積	約 7,600㎡
施設内容	火葬場(火葬炉8基)、葬儀式場(4室)
主要構造	鉄筋コンクリート・一部鉄骨造、地上2階建て
駐車台数	乗用車249台、バス10台

